

かみふらの



2013 **3** NO.646
こ う ほう



教 育 教 育 福 祉

特集 生まれ育ったこのまちで生きる
なかよしサミット 『いのち』の取り組み
教育賞・教育奨励賞受賞者発表



「大丈夫ですよ！ がんばって!!」
～十勝岳噴火総合防災訓練～

広報担当撮影

特集

生まれ育った

このまちで生きる

なないろニカラの活動から

「なないろニカラ」。何とも不思議な響きの名前。町内の公共施設などで、ちょっとカラフルなポスターを見かけたことはありませんか？
今月は、この「なないろニカラ」の活動を皆さんにご紹介したいと思います。

なないろの階段



ニカラのポスター

ポスターには「障がい者・障がい児 通所 小規模多機能事業所」、そして「みんなの未来を作っていく場所」とあります。「ニカラ」はアイヌ語で「階段」の意味とも…。

「北海道らしさを考えたときにアイヌ語だと思い、図書館に行つてアイヌ語辞典を借りてきまして、見つけたのが『ニカラ』だったんです。『カラ』という響きが『ここから始まる』という感じでいいなと思つたんです。『一歩一歩、自分の足でのぼっていく』、そんなイメージが重なりました」

そう話してくれたのは「障がい者の地域生活と就労を考える親の会」の代表で、なないろニカラ設立の原動力となつた田中明美さん。今年、成人を迎えた長男には、生まれつき障がいがあります。

「生まれ育つたまちで学校に通い、仕事をし、生活するのは人間として当たり前の権利。でも当時、入所を希望していた西保育所では障がい児を受け入れる態勢が整つておらず、西小学校には特学（現在の特別支援学級）がな

かつた。そこで、受け入れ態勢の整備と、特学の設置をお願いしました。中学、高校は親の元を離れ、養護学校で寄宿舎生活。そして今度は、卒業した後、このまちに帰つたとしても働く場所もないどころか、行き場所もない」という現実を目の当たりに…。

「泣いても一日、笑つても一日、同じ一日。何もしないで『ウジウジ』するのはもったいないし、考えていても始まらない。まずはやってみよう。知り合いや友達もいるこの地元、上富良野がやっぱり一番いいんです」

同じように障がいのある子どもを持つ仲間と一緒に親の会を立ち上げました。そして、ニカラの設立へ。

「私も息子も、周りの人に恵まれている。ずっとかみんに住んでおり、地域でのつながりもあるので、みんないろいろと協力してくれる。私は、皆さんに（私たちに）対する理解を押し付けようとは思いません。でも、無関心ではいてほしくない、と思つています。

皆さんに知っていただくために、まずは、気軽に遊びに来てください」



親の会代表の田中明美さん

空き間を埋める

ニカラには、子どもから大人までが通っており、子ども向けの事業としては「日中一時支援事業 こたらら」と「放課後等デイサービス ノンノ」があります。

日中一時支援は、放課後や学校が休みの日に児童を預かることで親の就労を支援するとともに、他人とのかかわりや社会の中で暮らすことに慣れることを目的としており、障がいを持つ成人の方も利用できます。

放課後等デイサービスは小学生から18歳までが対象。放課後や学校の長期休みに預かるもので、集団生活や社会に適應する力を身に付けるため工作や

お菓子づくり、料理体験、買い物などを通じ、個別の支援計画に基づいた療育を行います。

療育内容については、年齢や障がいの特徴、本人の発達の状況を保護者と話し合いながら決めていきます。

町には子どもセンターがあり、就学前には手厚い療育態勢が取られています。小学校入学後には「障がいを持つ子どもたちの行き場がない」という声も聞かれています。

教育委員会で行っている放課後事業では専門的な対応をできる人材がなく、利用する子どもたちの人数も多いため、障がい児の受け入れ態勢が十分とは言えない状況でした。ニカラは家庭、学校、行政の空き間を埋める補完的な機能を担っているといえます。

大好きなこのまちで

ニカラの目標は「障がいがあっても、大好きなこのまちで暮らすこと」。障がいがあるから環境が整っている都市部に引越すのではなく、この上富良野で暮らすしていく。しかし、このまちで暮らすには「ここで働く場所を探し、稼がなければなりません」。

障害年金を受給したとしても、それだけでは生活はできず、町内の知的障がい者の多くは身近な親族の収入に頼っているのが現実のようです。しかし、その保護者が高齢化によりサポー

ト力を失ったとき、困窮してしまう事例もみられます。

「1か月の生活費として必要な額はだいたい10万円くらい。それに対し、障害年金はおおむね月に6万円程度。その差額は4万円。健常の方ならアルバイトをすれば稼げる額ですが、障がい者がこの4万円を稼ぐのは、本当に大変なことなんです」と話すのはニカラの施設長、二宮利和さん。

「寒い屋外で1日中、水を使った仕事をしてももらえる賃金が数百円なんてことも珍しいことはありません。『障がい者だから超低賃金でいい』という考えはおかしいと思うんです。だから、仕事の依頼を受けるときにはその業務に見合ったお金を、という話をさせていただきます。障がいがあるのでも、一つの業務を何人かで分担しなければなりません。何人で分担しようと、まずはその業務に見合ったお金をもらうことが重要だと思っています」

「二宮さんは『『正当な』額の給料を』という言葉も使っていました。年金と給料で生活していける状況をつくること、障がい者の社会的・経済的自立の道を開くことにつながる、そのことを強調されていました。



施設長の二宮利和さん

お母さんにお聞きしました



小学4年生と1年生の娘さんを通わせている林由紀子さん

お姉ちゃんも教育委員会の放課後事業にも登録していましたが、今はニカラだけに行っています。

ひとり親のため仕事をしなければならず、障がいを持つ2人にいろいろな教えるのは時間がかかるので手取り足取りは難しいのですが、ニカラではお菓子づくりや包丁の使い方なども教えていただき、親の手の回らない部分のフォローもいただいています。

買い物の練習など学校では習っていないことも経験でき、社会のマナーや他人との接し方なども学んでいます。特に、深山峠の観覧車と富良野スキー場のロープウェイに乗ったことがとても楽しかったようで「また行きたい」と言っていました。

自分は車を持っていないので、送迎サービスがあるのはありがたいです。し、何よりも受け入れてくれる場所があるということに安心できます。

障がい児を持つ親として「何もかもが初めて」という中で、他の親とつながりを持てる、思いを共有できる場があるのもありがたいと思っています。子どもたちも楽しみにしており、ニカラができて本当によかったです。



出来立てのおいしいそうなクロワッサン(上)と袋詰め作業(下)

豆の選別作業

おいしいパンはいかがう?

ニカラでは「自立訓練(生活訓練)」と「就労継続支援B型」を通じ、障がい者の就労を支援しています。

家から出てどこかに通うことに慣れていないという方はまず通所することから始め、洗濯など通常の生活を送るための身の回りのことを行う訓練や、仕事に就くには少し早いといった方には就業の訓練を行い、少しずつできることを増やし社会性を身に付けます。就業訓練としては豆の選別、鶏卵の洗浄・仕分け、プラスチック容器のキャップの組み立てなどの企業や農家からの委託作業のほか、ニカラが自ら運営するパン工房でパンを焼き、販売もしています。

パン工房ではメロンパン、クリームチーズパン、あんぱん、アップルパイ、ミニクロワッサンなどを焼き、会社やご自宅に配送しているほか、特別養護老人ホームラベンダーハイツの朝食にも利用され、学校祭などのイベントへ

の商品提供も行っています。オリジナルの食事パンの販売も近々予定しているそうです。

おいしい食事はいかが?

ニカラが、より実践に近い場所として運営するのが東7線北18号、ため池が目印の東中公園内にあるカントリーキッチン「シットココ」。「この名前もニカラ同様アイヌ語で、「目を開いてよく見る」という意味。

「七色の階段を登って、目を開いて、自分の将来を見据えてほしい」

そんな願いが込められたレストランでは職員2人のほか、2〜3人のメンバーが働いていますが、あえて「福祉」の看板は掲げず、店の雰囲気、接客、料理のクオリティーともに一般のレストランとして妥協することなく、値段もそれらに見合った価格帯に設定。「窓をわざと小さくした」というこだわりの設計で建てられた建物と、地元東中産の野菜、かみふらのポークを

使った料理の味とボリュームに、「ランチとしては若干高めかな」という料金も納得です。

景観を生かすなら大きな窓にしそうなもの。「窓を大きくすると車や家、人、何でも見えてしまう。周りの環境がいいからこそ、窓を小さくすることで木だったり、池だったり、山だったり、それぞれのシーンを切り取ることができて、非日常を感じることができると」

オープンした一昨年にはツアー会社と提携して客の入りも順調でしたが、昨年からはやめたそうです。

「儲けだけを考えれば、観光バスで来てもらって客の回転率を上げればいいのですが、観光客の来ない冬が

問題。ここはあくまで雇用と訓練の場。1年を通じて来ていただかなければならない。そう考えると、やっぱり地元のお客さんに利用していただかないと。午前中に来て午後3時くらいまで、ゆつくりとおしゃべりして帰られる年配の女性グループもいます。最近、町内会の会合用オードブルの注文も入るようになりました」

シットココの2階の事務所では、数名が別の作業。お店で出す割り箸の袋とコースターを手作りしていました。

牛乳パックと漫画雑誌を加工して再利用した工口製品で、仕上がりは素朴であつたかっこいい感じ。同じ方法で封筒も作っており、こちらはレストランとニカラで販売しています。



9〜6月の営業時間は11時〜16時で火曜日定休
「ディナーや各種パーティーも承ります」

空気が変わってきた

「メンバーの将来を一緒に考えよう」が職員の合言葉。障がいがあっても「一方的に助けられる存在」ではなく、可能な限りできることを増やすことで、誰かの支援を受けながらでも「誰かの役に立つこと」「自分は役に立っている存在なんだ。認められているんだ」という実感、自己肯定感を育んでいくことを最大の目標に、日々の活動に取り組むニカラ。

平成22年の事業所立ち上げ当時は「障がい者を食いモノにするのか」など心ない言葉も浴びせられたこともあったとか。しかし、現在では「こんな仕事あるけど、受けてくれるかい」と声がかかるほど、周囲の空気は変わってきたそうです。

現在まで5人ほどがニカラを巣立ち、一般の会社に就職しました。今後は、近いうちにパン工房を移転してグレードアップを図ると、みんなが集まって触れ合いながらレクリエーションなどを楽しむサロンの開設を予定しており、将来的には自立して生活できるようグループホームの設立も視野に入れていくとのこと。併せて既存の事業の見直し・改善も行いながら、今後の事業展開を図っていく予定です。

「みんなの未来を作っていく場所」の活動は、自らの未来も切り開きながら将来に向けて進んでいきます。

素朴で味わいのある手作り封筒



すいた紙を手に、カメラ目線〜

もっと自然に、 当たり前になっ...

放課後等デイサービスのチラシにはこんなことが書かれています。
「お金の計算のできないお子さんの場合は、レジの店員に手伝ってもらって支払う。手足が不自由なお子さんの場合は、レジの店員さんにお財布を渡し、中からお金を取ってくださいとお願いする。自分が持っているお金で買えるものがどれかわからなければ、店員さんに聞く。(中略)職員が手を出すのではなく、店員さんに聞ける、お願いできる事が社会に出た時に必要になるスキルだと思っています。」

「地域の方達と子ども達が関わる事はとても大事です。同時に、地域の方達に活動の趣旨を知って頂き、子ども達の事も知って頂くことが、将来、子ども達が地元で、生き生きと暮らしている事にもつながっていくのだと思っています。」

人は他人とのつながりの中で生きているもの。それは健常者であっても障がい者であっても同じこと。だからこそ協力をお願いする、そして手を差し伸べる、それがもっと自然に、当たり前のように交わされるまち、地域になっていく…。

「地域に見守られている」という安心感、「自分が地域の一員だ」という自覚が障がいを抱えた方たちの心の中に芽生えたとき、本当の意味で、障が

いの有無に関係なく、誰もが等しく、当たり前前に安心して生きていけるまちになるはずです。

このまちで生まれたなないろニカラが、そんなまちになっていくための橋渡し役になるとともに、この活動が後に続く障がい児の未来に明るい光をともすことを願わずにはられません。

ニカラでは、ここに紹介した事業のほか、外出のお手伝いをする移動支援事業も行っています。

「役場での手続きや買い物に行きたいけど1人では不安」「バスや列車に1人で乗れない」「親などの介助者が1人だけでは対応できない」といった買い物などの外出を支援します。

就労支援事業は火・日曜日はお休みですが、その他の事業については年中無休で対応しています。

これらのサービスを利用したいという方は、保健福祉課福祉対策班へお問合せください。

また、ボランティアスタッフと賛助会員を募集しています。募集への申込みや各事業の内容の詳細については直接、ニカラへお問合せください。

問合せ 保健福祉課福祉対策班

☎69687

なないろニカラ

☎62008

nanaironikara@oboe.co.ne.jp

児童生徒のなかよしサミット
小・中・高校生による語り場・意見交流

「いのち」の取り組み

上富良野町生徒指導推進協議会主管
による第18回なかよしサミットが、平成24年8月29日に、社会教育総合センターで開催されました。

このなかよしサミットは、平成7年から行われており、今回で第18回目。町内の小・中・高校の児童・生徒が「いのち」をテーマに日ごろの学校で取り組んでいることを話し合いました。はじめに参加者全員で行った全体会では各学校からの取り組みを発表し、それぞれ工夫している点、取り組み実績などが報告されました。



リングブルの回収において、ある学校ではリングブルが缶から外れないよう缶メーカーで工夫されており、空き缶から外すときに指をけがする場合があります。エコキャップ回収を中心にした取り組みに変えたことや、回収した量が透けて見えるよう回収箱を工夫し、みんながドンドン意欲的に集められるようにしたことなどが発表されました。

全体会での発表後は、グループ討議。交通安全、リサイクル、健康の3つのグループに分かれ、意見交換をしながら、今後どのような取り組みが考えられるか、各自のアイデアを出し合っていました。



エコキャップ回収箱もひと工夫
箱のフタがロボットの顔に

グループ討議から

交通安全

交通安全では、
自転車3か条を学校で決めています。

- ・並行しない
- ・暗くなったらライト点灯
- ・横断歩道は押して歩く

この自転車3か条のほかにも、大人も自転車は横断歩道を押して歩く、冬は自転車に乗らない、傘や携帯電話をしながら自転車に乗らない、などの意見があり、町民に呼び掛けをしようとの意見がありました。

リサイクル

エコキャップ回収でシールがあるダメなど集め方も含め、ポスターで呼び掛けをしようとの意見がありました。

健康

みんなができる、ラジオ体操をしようとの意見がありました。

子どもたちの活動から 地域全体の取り組みに

児童生徒が「いのち」について自ら考え行動することは、とても大切なことです。交通安全について考えることは自分の命だけでなく、他人の命を守ることに繋がります。子どもたち

が回収しているエコキャップは発展途上国の子どもの命を救うワクチンに、リングブルは体が不自由な方に必要不可欠な車イスに交換されます。リングブルについては、もつすぐ1台分と交換できる660kgになり、エコキャップは町全体で407人分のワクチンに相当する数量が、1

個数	重量	ポリオワクチン
325,570 個	769.3 kg	407 人分

平成24年度エコキャップ回収量(1月末現在)

子どもたちを健やかに育ていくには、大人がその模範を示すとともに、子どもたちの取り組みへの理解と協力が必要です。傘を差しながら、携帯を操作しながらの自転車の運転はしないなどのマナーを守ることはもちろん、エコキャップやリングブル回収にもご協力をいただければと思います。

「いのち」の大切さを考えたなかよしサミット。話し合った内容が子供たちだけの取り組みで終わることのないよう、地域全体で理解し、見守り、支えていくことが必要だと思つたのです。

問合せ先

上富良野の青少年健全育成をすすめる会事務局(教育委員会内)

☎5511

教育賞・教育奨励賞受賞者発表

教育賞

【学芸賞】全道以上の作品展で入賞又はコンクールで活躍した個人・団体
 【体育賞】管内レベル以上のスポーツ大会に出場し認められた個人・団体
 【努力賞】皆勤した児童・生徒、新聞紙上などで認められた個人・団体
教育奨励賞
 教育賞各賞の基準に及ばないが、一生懸命に努力し、活躍した個人・団体

小学生

教育賞(学芸賞)

上富良野小学校

◆上富良野小学校スクールバンド

【吹奏楽コンクール旭川地区予選金賞など】

◆上富良野小学校スクールバンドアンサンブルチーム【第44回北海道アンサンブルコンクール出場】

◆谷安香里、荻田春奈

【北海道書道展推薦】

◆日高颯太、伊藤亮流、小松凜、鈴木くるみ、遊佐一葉、河原明香、中田深心【北海道書道展奨励賞】

上富良野西小学校

◆丹野葵木【北海道青少年科学技術振

興作品展努力賞など】

教育賞(努力賞)

上富良野小学校

◆江嶋直樹、佐藤恋【皆勤賞】

上富良野西小学校

◆角田航太郎【皆勤賞】

◆上富良野西小学校6年生【高齢者へのボランティア活動として、ふれあい昼食会に参加。取り組みの様子が記事として掲載】

江嶋小学校

◆江見恭佳【前期児童会会長としてボランティア活動に取り組み、リンクブル集めを推進したなど】

教育奨励賞(学芸賞)

上富良野西小学校

◆増田久遠、西塚大悟

東中小学校

◆田中玖瑠未、浜本陽向

江嶋小学校

◆平沢摩阿椰

教育奨励賞(努力賞)

上富良野小学校

◆小泉菜、仙頭怜奈、齋藤萌菜、谷口陵太、早坂柊人、秋田谷唯、大石早希子、齋藤唯翔、能島敬弥、端場麻衣、樋上奈南、吉田知哲、今井鈴々、大建ひな、大沼涼香、齋藤絢、仲島柚月



中学生

教育賞(学芸賞)

上富良野中学校

◆菊地真耶【高円宮杯日本武道館書道大会書道大会奨励賞】

◆菅原世莉奈、川井飛鳥、佐々木奈由美、松田紗里伽、源陽嘉、渡部真央、小松美紅【第56回北海道吹奏楽コンクールB編成金賞】

教育賞(体育賞)

上富良野中学校

◆川村隆介、垣副大地、垣副翔太、十鳥夏生人【第43回北海道中学校陸上競技大会第3位入賞】

◆赤松慧哉、世坂嘉章、早坂京偉、寺尾晃、佐藤仁美、菅野杏華、宇谷奈々【第43回北海道中学校陸上競技大会出場】

◆小野寺亮太、片平達也、加藤侑太、大道颯斗、宮崎滯二、三浦康平、高士大輔、長谷山隼也、大建成、小林拓斗、谷口雄飛【第29回全日本少年軟式野球北海道大会出場】

◆川瀬可純、鎌田由麻【第38回北海道

上富良野西小学校

◆下園千夏、渡部志葉、及川巧望、西村茂奈、舘洞怜那、平山誠之助、角田航太郎、中野心、甘利拓透、渡辺里彩

江嶋小学校

◆白井汐音

中学生インドアソフトテニス選手権大会出場】

平田崇修

【第67回国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会】

◆小野力也、八島純輝、本間翔太、梅澤龍太、滝上碧仁【第27回道新杯全道中学選抜卓球大会出場】

東中小学校

◆及川瑞歩、池上拓真【第41回富良野地区中体連ソフトテニス大会団体戦優勝、個人戦第2位など】

◆長谷川由記、藤森成美、磯崎菜実江【2年連続、上川管内代表決定戦ソフトテニス大会出場など】

教育賞(努力賞)

上富良野中学校

◆垣副大地、片平達也、相馬美輝、守田麻衣、浦波陽平、長谷山隼也、小野桃佳、菅原世莉奈、佐々木奈由美、菅野杏華、中澤洸貴、橋野千樹、金田志穂、下園美琴、佐藤仁美、松田紗里伽、田中大晴、平田崇修【皆勤賞】

高校生

教育奨励賞(努力賞)

上富良野高校

◆迫田隼弥、佐々木峻、竹内英貴、田中佑弥、轟木一磨、船ヶ山翔太、吉井有馬、伊藤賀奈恵、大野倫花、清水野香、木村潔奈

2/3 寒さなんて吹き飛ばせ かみふらの雪まつり

かみふらの雪まつりが、日の出公園
特設会場で行われました。

49回目を迎える今年の大雪像は人気
漫画「ワンピース」に登場する海賊船
「サウザンドサンニ号」。高さ5mを
超す大作は迫力満点！ 両横には主人
公のルフィ、チョッパーの雪像も。
時折、強く雪が吹き付ける荒天でし

たが、子どもたちは元気いっぱい。滑
り台をはじめスノーモービル・スノ
ーラフティングの体験搭乗、宝さがしに
楽しそうな歓声を上げていました。
ステージでは「しげもっこり」の司
会進行で雪だるまコンテストや早食い
競争、自衛隊音楽隊演奏会、当たりく
じ入りのチョコまきなどのイベントが
用意され、寒さも吹き飛ばすほど会場は
大いに盛り上がっていました。



雪だるまコンテスト

宝さがし

チョコまき

雪中訓練？

2/3 吹雪の中の熱き戦い かみふらの雪台戦大会

かみふらの雪台戦大会が社会教育総
合センターで行われました。



この日は朝から吹雪模様。中学生以
上は予定通り屋外で、小学生はアリー
ナでの開催となりました。
相手陣地にある旗を取れば「勝負あり」となるルールですが、大胆に攻め
込んで玉砕するチーム、自陣から玉を
遠投しながらじわじわと責めるチーム
など、それぞれの戦術を駆使しながら
戦っていました。

【小学生中学年の部】

優勝 西ファイターズブルー

【小学生高学年の部】

優勝 西ファイターズレッド

【混成の部】

優勝 The いちごだいふく

【一般の部】

優勝 上高野球部B

2/3 10年の節目を祝う たんぼの会交流会



コミュニティプラザ中茶屋を運営す
る「特定非営利活動法人 かみふらの
たんぼの会」設立10周年記念交流会
が、プラザトミヤマで行われました。

託老所、福祉有償移送サービスの提
供などを通じて高齢者の生きがいづく
り、地域に密着した生活支援活動に精
力的に取り組むたんぼの会。

この日はスタッフ、通所者、来賓な
ど合わせて60人余りが出席。これまで
の歩みを振り返りながら10年という節
目を祝つとともに、設立以来掲げてき
た「住み慣れた地域で、元気に楽しく
暮らし続けるために」との理念を、あ
らためて胸に刻んでいました。



見晴台公園会場(1・2段目)と
深山峠会場(3段目)のアート

**2/9 雪のアートを楽しむ
ウィンターサーカス**

2月9・10日の2日間、見晴台公園と深山峠の2会場で、冬を楽しむ雪を使ったアートプロジェクト「ウィンターサーカス」が開催されました。

見晴台公園会場ではさがり汁や「かみふらのパーク&ビーンズカー」が格安で提供され、訪れた方たちは雪がちらつく中、冷えた体を温めながら、ライトアップされた幻想的な雪の芸術に感嘆の声を上げていました。



2/5 園児手作りのアイスキャンドル点灯式

園児たちが手作りしたアイスキャンドルの点灯式が2月5日の夕方、西保育園の玄関前で行われました。

作ったキャンドルは全部で200個。バケツやコップを使ったオーソドックスなものから、風船の中に水を入れて凍らせた珍しいボール形のキャンドルや、ペットボトルに造花を入れたものなど形もさまざまで、力作ぞろい。

先生と一緒に火をともし「きれいだねー!」と楽しそうにながめていました。このキャンドルは2月18日まで火がともされました。

節電のため、毎年行っていた施設のイルミネーションが中止になり、ちよつと寂しげだった保育園も、キャンドルの優しい灯りで彩られました。

**2/22 来るべき日に備え
十勝岳噴火防災訓練**



平成24年度十勝岳噴火総合防災訓練が、2月21・22日の2日間にわたって行われました。

21日は低周波地震の増加を伴う火山活動の活発化を想定し、噴火警戒のための上川総合振興局や美瑛町、自衛隊など災害関係機関との情報伝達訓練。

22日は62・2火口で小規模な噴火が朝から続いており、14時25分に大規模な噴火が始まり火砕流が発生、15時には泥流が市街地に到達したという想定で訓練が行われました。

避難訓練では、自主避難を促す防災行政無線が放送されると、高齢者を中心に自主防災組織の支援を受けながら自主避難を開始。並行して消防などに



よる要援護者の搬送訓練も行われ、避難指示が出された14時過ぎには、多くの方が避難所に向かいました。

その後、未避難者確認のため各戸を見回るローラー作戦が行われる一方、島津球場では地震による雪崩に巻き込まれた避難者、倒壊した家屋に閉じ込められた住民の救助・救出訓練が消防、消防団、自衛隊、警察の合同態勢で行われました。

講評では「要援護者の避難に万全を期すためにも、実態把握の精度を上げなければ」想定ではなく実際に起きる難題に対応するには、普段からの連絡態勢の整備と情報の共有が必要」などの意見が出されました。

税金・保険料の納め忘れはありませんか？



問合せ 町民生活課税務班 ☎ 456989 (税)
町民生活課総合窓口班 ☎ 456985 (後期高齢者医療保険料)
保健福祉課高齢者支援班 ☎ 456987 (介護保険料)

加得元! 本日現在、92 件実施中 (H24年度)

SFTSはダニが媒介するウ

日本の年金制度は、国民がそれぞれ公的年金に加入し保険料を出し合うことで、誰にでも起

さらに、現役世代にとっても、両親の老後の生活費を仕送りする心配をせずに生活できるというメリットがあります。これは「世代間扶養」という仕組み

問合せ

町民生活課総合窓口班

6998545



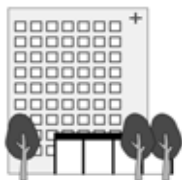
①農作業・山歩きなどをしなけ

ればならない時は首筋、手首、足首など衣類の隙間からダニが入り込まないように十分注意する。

②万が一ダニに咬まれたことに

阪急電鉄

問合せ 町立病院



④ 3171

研修会

富良野地区
合同ワークヨッパ

「林業・林産業の経営革新・世界的な景気後退のもとで競争力を高めるには、」をテーマに開催されます。

日時 3月25日(月) 14時～16時
場所 富良野市山部東町7番31号
富良野市山部福祉センター

参加料 無料

申込期限 3月19日(火)までに

電話で申込みください。

申込み・問合せ

東京大学北海道演習林

☎ 2111 内線12

募集

平成25年度予備自衛官
補・一般幹部候補生

□予備自衛官補

募集区分

・一般(18歳以上34歳未満)

・技術(18歳以上の国家免許取得者)

試験日 4月12日(金)～15日

(月)のうちいずれか1日

受付締切 4月3日(水)

□陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊一般幹部候補生、海

上自衛隊技術幹部候補生
応募資格

・22歳以上26歳未満

ただし、20歳以上22歳未満は

大学卒(見込み含む)

・大学院修士取得者(見込み含む)

は28歳未満

試験日 5月11日(土)

※海上自衛隊、航空自衛隊の飛行要員は11日(土)と12日(日)

(日)

受付締切 4月26日(金)

問合せ 自衛隊旭川地方協力本部上富良野地域事務所

☎ 3412

保健

かみんプール利用休止

4月8日(月)～11日(木)は清掃・点検のためプール・浴室を休止します。

問合せ 保健福祉課福祉対策班

☎ 6987

かみんプール教室

4月1日から6月30日までのかみんプール教室は、下段のとおりです。

問合せ 保健福祉課健康推進班

☎ 6987

かみんプール教室スケジュール

【4月1日～6月30日】

	月	火	水	木	金	土	日
9時	一般利用						一般利用
10時	パワー筋トレ (40分) ★★★	頑張るダイエット (40分) ★★ (陸上筋トレ30分)	チェンジボディ (40分) ★	頑張るダイエット (40分) ★★ (陸上筋トレ30分)	アクアビクス (45分) ★★	頑張るダイエット (40分) ★★ (陸上筋トレ30分)	
11時～14時	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム)						
14時	燃焼ウォーク (40分) ★★	ルンルンアクア (40分) ★	スリムウォーク (40分) ★★	脚力のすすめ (40分) ★★	チェンジボディ (40分) ★	一般利用	
15時～19時	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム) ※土・日曜日は15時～15時20分						
19時	スリムウォーク (40分) ★★	燃焼ウォーク (40分) ★★	パワー筋トレ (40分) ★★★	チェンジボディ (40分) ★	よくばりアクア (50分) ★★★	脚力のすすめ (40分) ★★	一般利用
～20時30分	一般利用 (教室終了後～20分間 流水タイム)						

* 表の★の数字は運動の『きつさ』をあらわします。

* 「流水タイム」の間はフロアマシンが利用できます。時間内は1コース使用しますのでご了承ください(日曜日は15時のみ)。

* 初めてプールに入られる方は個別に対応いたしますので、プールスタッフに声をお掛けください。

* 「頑張るダイエット」は9時30分から30分間、陸上での筋力トレーニングの後、プールで有酸素運動を40分間行います。

広告を掲載しませんか

広報かみふらのでは、掲載いただける有料広告を募集しています。

サイズ・掲載料(1回につき)

4.5cm× 8.5cm 5,000円

4.5cm× 17.5cm 10,000円

発行日 毎月10日・25日(休日の場合は直前の平日)

申込み・問合せ 町民生活課自治推進班 ☎ 6985

広告を掲載しませんか

広報かみふらのでは、掲載いただける有料広告を募集しています。

サイズ・掲載料(1回につき)

4.5cm× 8.5cm 5,000円

4.5cm× 17.5cm 10,000円

発行日 毎月10日・25日(休日の場合は直前の平日)

申込み・問合せ 町民生活課自治推進班 ☎ 6985

わが家の ア☆イ☆ド☆ル

ふるや あみちゃん
古屋 杏望
(2歳3か月)

♡正樹さん・里江さんの子♡

2人のお兄ちゃんが大好きな杏望です。お兄ちゃんが帰って来るととても喜んで「遊ぼう」と誘っています。これからも明るく元気な優しい女の子に育ってね (里江さん)



よしむら なおちゃん
吉村 名央
(2歳3か月)

♡宏行さん・ひかるさんの子♡

チョコレートがあれば、すぐくご機嫌な名央。最近では、自分で靴や服を着たがります。これからは、明るく、元気に友達といっぱい遊んでほしいです。(ひかるさん)

就学前までのお子さんを募集しています。
町民生活課自治推進班 ☎6985

みんなの伝言板

「放課後等デイサービス」説明会

障がいや発達に心配があるお子さんが、日常生活や社会生活を送る上で困っていること、苦手なことに対し、個別に計画を立てて療育(支援)をしていくサービスです。

説明会では、活動の様子をビデオと写真で説明します。

日時 3月12日(火) 18時30分から

場所 富良野市文化会館2F中会議室

参加料 無料

託児 有り(事前にお申込みください)

問合せ NPO法人なないろニカラ ☎6208

富良野広域情報

富良野市「スキーの甲子園開幕！」

全国の高校生280人が北の国「ふらの」で熱戦を繰り広げます。選手たちに、大きな声援をお願いします。

日時 3月14日～17日

場所 富良野スキー場

スปีースコース

問合せ SKIだ！ふらの
実行委員会 ☎2318

中富良野町「地酒の美味しい季節になりました」

中富良野産米「ゆきひかり」からつくられた吟醸酒「紫の雫」と純米酒「法螺吹」。多くの人々を魅了する新酒をご賞味ください。

問合せ なかふらの酒造振興会 ☎4213

南富良野町「南富良野特産くまさ茶」

「くまさ茶」は、ふらのの山麓に育まれた熊笹からエキスを抽出した「清涼飲料水」。道の駅「南ふらの」と町内各商店で販売しています。

問合せ 農産物処理加工センター ☎3012

占冠村「しもかぶククサ大きめでたよ！」

ククサは幸運を運ぶカブ。「しもかぶククサ大きめ」もできました。森と大地の恵みを凝縮させたククサを片手にゆったりとした時間を過ごしませんか？

問合せ NPO法人占冠・村づくり観光協会 ☎8010

人めぐり逢

はが みよこ
羽賀 美代子さん

昭和22年生まれ
新町4丁目



先月号の佐々木厚子さんからめぐって、羽賀美代子さんにお逢いしました。佐々木さんとは町内の集まりで親しくなり、年齢が同じで家が近いため、一緒にお茶をしたり、遊びに行く仲です。

羽賀さんは正方形のマス状の網を踏まずに歩く運動を行う、ふまねっとクラブの代表。「皆さん来るのを楽しみにされています。参加すると表情が明るくなり、笑顔で『またくるね！』と言われるのがうれしい」とにっこり。優しい人柄がうかがえます。その反面、思い立ったら即行動のアクティブな一面も。ふまねっと運動をかみふに広めるため、幕別町での体験学習に参加したり、インストラクター資格を取りにと奮闘したそうです。

もともと羽賀さんは埼玉県出身で、ご主人の転勤でかみふへ。図書館で働き始めたことから絵本の読み聞かせのサークルを作ったり、誘われて手話サークルなどにかかわることで沢山の人のためにめぐりあいました。今では年齢に関係なく、多くの交流があるとか。「いろんな人とかがわけてうれしい。かみふに転勤できて良かった」と、ふれあいを大切にする羽賀さん。その人柄に引かれ、自然と周りに人が集まる理由が分かった気がしました。

サークル会員募集やイベントの告知などに「みんなの伝言板」を活用しませんか？
伝言の掲載希望は町民生活課自治推進班 ☎6985へ。

かみふっこキャラリー



すずき いっぺい
鈴木 一平 くん
(平成18年生まれ)



作品名
『おふなやうし』

「帽子をかっこよくのせるのが大変」と難しかったところを教えてくださいました。花を上手に並べるのも楽しかったそうで、バランスのいい作品になりました。



こだますみか
児玉 純花 ちゃん
(平成18年生まれ)

「着物の紙を折るのが大変だったけど、ほかは簡単だったよ」とおひなさまを見せてくれました。
選んだ着物の和紙が、とってもきれいでお気に入りだそうです♡

— 中央保育所 —

火災が発生してしまったら…

～かみふらのファイヤーマンからのメッセージ～



ちょっとした不注意や油断から起きてしまうのが火災。財産だけでなく、時には大切な人の命をも奪い去ってしまうことも。起こさないことはもちろんですが、起きてしまったときの対処法を知っておくことも重要です。

そこで、もしも火災が発生してしまった場合の6つのポイントを、このメッセージを読んでくださる皆さんだけに(あたりまえ～♪ あたりまえ～♪)お伝えします。

【火災が発生した時の注意ポイント】

- ①天井に炎が燃え移ったら、消火をあきらめてすぐに避難しましょう。
- ②タオルなど(衣類でもOK)を濡らし、口や鼻をふさぎながら避難しましょう。
- ③煙の中では姿勢を低くし、煙を吸い込まないようにしましょう。
- ④屋外に避難したら、絶対に戻らないようにしましょう。
- ⑤消防への通報は、安全な場所に避難してから行いましょう。
- ⑥逃げ遅れた人がいたら、消防隊員にすぐ知らせましょう。



以上、火災発生時の6つのポイントをお伝えしましたが、火災を早期に感知する住宅用火災警報器を設置することが、安全かつ速やかに避難するための一番のポイント！ 自分と大切な家族の命を守るためにも、まだ設置していないという方は、早急に設置してください。

火災予防や住宅用火災警報器についての情報は、上富良野消防署ホームページにも掲載しております。



問合せ 上富良野消防署指導係 ☎452119

食育の 推進

塩分控えめ、野菜は1日350g 清富住民会「ふれあいサロン」

2月8日(金)、清富住民会のふれあいサロンが清富多世代交流センターで開催されるのに合わせ、講話と調理実習におじゃましました。

講話のテーマは塩分と野菜の摂り方。塩分は男性が1日9.0g、女性7.5gが基準量で、高血圧症になると6g未満まで制限しなければならぬので日ごろから気を付けること、野菜はビタミンAやC、カリウム、食物繊維などを摂るため1日350gは最低でも食べるよう心がけることをお話させていただきました。



続いて調理実習。メニューはブロッコリーの混ぜご飯と缶詰の大豆を使ったかき揚げ、じゃが芋のコロコロ煮、味噌汁、デザートにはオレンジ。講話の内容を踏まえ、塩分は控えめで野菜たっぷりのメニューを選びました。調理には婦人会の皆さんのご協力をいただきました。

参加者からは「食べ物のお話を聞くと、いろいろと気を付けるようになるので参加してよかった」「何度か話を聞いて麺類のスープは残すようになった」「大豆の缶詰は手軽に使い、参考になった」「薄味で食材の味がよく分かりおいしかった」などの感想が聞かれました。

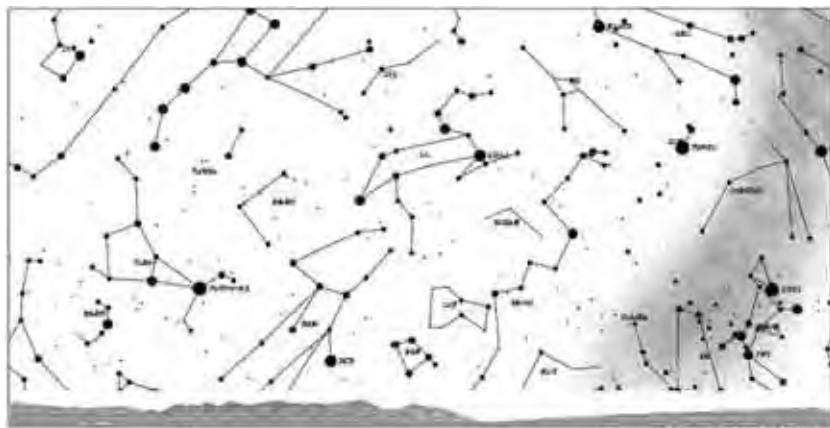


問合せ 保健福祉課健康推進班 ☎456987

星空のご紹介

問合せ
教育振興課
社会教育班
☎5511

● 3月の上富良野の星空



今月の星空の図は3月20日午後9時ごろ、南東の空を眺めた様子です。長い冬が終わり、春の星座「うしかい座のアルクトゥールス」や「おとめ座のスピカ」が東の空に顔を出しています。アルクトゥールスはオレンジ色、スピカは青白く、ともに明るく輝いて大雪山系の上に見えており、南の空にはちょうど半月を迎えた月が輝いています。28日には、満月を少し過ぎた丸い月と並んで見えます。

話は変わって、3月20日は「春分の日」。昼と夜がそれぞれ12時間ずつ、同じ長さになる日です。冬の間は夜の方が長く、この日を境に昼の時間が長くなります。北極や南極では太陽が昇ることも沈むこともなく、1日中地平線の周りをぐるりと一周して見えるそうです。

さてさて、皆さんはこの春分の日と秋分の日が天文現象によって決められるのを知っていますか？ この2日については国民の祝日に関する法律に具体的な月日が書かれておらず、毎年2月1日に国立天文台が翌年の「暦要項(れきようこう)」として発表して初めて決定されます。

少し難しい表現になりますが、太陽が春分点を通過する瞬間を含む日を春分の日、同じく秋分点を通過する瞬間を含む日を秋分の日と定義され、今年の春分の日は3月20日ですが、来年は3月21日となります。

● 3月の天体観望会

中西靖男氏を講師に上富良野西小学校チャレンジ天文台で行います。参加は無料。屋上でも観察しますので、暖かい服装でご来場ください。

日時 3月21日(木) 18時30分～19時30分

内容 パンスタース彗星、月(悪天候の場合は天体映像鑑賞会)

定員 20名(中学生以下は保護者同伴)

申込み 3月18日(月)までに教育振興課社会教育班へ

たくさんの善意
ありがとうございました

町へ

◎佐藤忠市さん エレクトーン1台
◎吉岡さよ子さん 5万円
◎ベンチャーキッズかみふっ子 67,610円

町立病院へ

◎上坂トミノさん 3万円

社会福祉協議会へ

◎上坂トミノさん 5万円
◎清水文介さん 3万円
◎西塚幸枝さん 5万円
◎陶由彦さん 5万円

「津波警報が変わります」

東日本全域に大きな被害をもたらした東北地方太平洋沖地震。特に津波による被害は甚大で、津波警報に関する課題が指摘されたことから、気象庁では改善に取り組み、平成25年3月7日から、「新しい津波警報」の運用を開始することとしました。

最大の変更点は警報の発表方法の見直しで、津波の高さを小さく予想することを防ぐため、巨大地震発生時に限り、その海域における最大級の津波を想定して発表します。

また「沖合での津波観測に関する情報」を新設し、津波が沿岸に到達する前に沖合の津波の状況や沿岸に到達する時刻、津波の高さの推定値をいち早くお伝えします。

津波警報は、津波による災害の発生が予想される時に発表する重要な情報です。津波警報を見聞きしたら、直ちに安全な場所へ避難をお願いします。

問合せ 旭川地方気象台 防災業務課

☎0166-32-7102

- 発行／上富良野町
- 編集／町民生活課自治推進班
- 印刷／協和印刷商事㈱

■ご意見・ご感想をお寄せください
☎071-0596

北海道空知郡上富良野町

大町2丁目2番11号

☎0167-6985 FAX0167-65362

http://www.townkamifurano.hokkaido.jp/
jichi@townkamifurano.lg.jp

● 人のうごき ●

平成25年2月28日現在
()は前月比

住民登録

人口 11,695人 (- 14)
男 5,863人 (- 11)
女 5,832人 (- 3)
世帯 5,287世帯 (- 8)

外国人住民 ※住民登録の内数

人口 25人 (± 0)
男 10人 (± 0)
女 15人 (± 0)
世帯 15世帯 (± 0)



『小さなお客さん』
旭町1丁目 山口正枝さんの作品